



Share Rotary—  
Serve People

みんなにロータリーを—  
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 斎藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 75 名 出席 55 名 出席率 73.33% 前回出席率 70.57% 修正出席 65 名 確定出席率 86.67%

### 会 長 報 告

内 山 喜 一 君

- 詳細は来週第1例会で申し上げますが、6月9日創立記念日ですが、6月12日第2例会に津田先生の創立当時の思い出のスピーチがありますので、出席率 100% にしたいので出席委員会よろしく。
- 同日新旧クラブ協議会を午後5時、祝いで開催されますので多数出席して下さい。

○次にポール ハリス フェロー藤川享胤さんと内山英資さんの献金がありました。

### 幹 事 報 告

斎 藤 隆 君

1. 日中友好の新聞「日本と中国」到着回覧中であります。
2. 5月8日・9日に長井で行なわれた第253地区第5回ライラ研修会の礼状到着。

### 会 員 ス ピ ー チ

## 米 国 気 儘 な 一 人 旅

藤 川 享 胤 君

4月18日夕刻日本航空 002 便に乗りこみ、機上の人となってから8時間30分後、ジャンボ旅客機はスムーズなランディングでサンフランシスコ インターナショナル エアポートに降り立ちました。1年振りの思い出のサンフランシスコは雲一つない真青な空と輝やかなカリフォルニアの太陽の光でまばゆい感じが致しました。

想えばこの3年間、私はこのサンフランシスコの地に桑港寺の新本堂を再建する為に、ロータリアンとして与えられた奉仕の機会に全くというほどその責任を果すことが出来ず、多くの諸先輩に迷惑をかけ、家庭においても親として、夫としての責任を放棄して、唯ひたすらに新本堂落慶の為東奔西走してきたのであります。

全てを犠牲にして情熱をかけたプロジェクトが今、落慶法要という形で結集され、その法要厳修の為に今回の渡米となった訳です。

サンフランシスコの日本人町の一隅に建立された日本の禅宗寺院らしい様相を呈した桑港寺の新本堂



落慶法要は4月22日大本山永平寺副貫首・丹羽廉芳禅師の御親修を仰ぎ、日本からは70名の人々の御随喜を戴き、まことに誠に開眼供養が修せられました。吾クラブからは、内山会長が直筆の般若心経の写経を数通持参し奉経していただきました。法要後参列者が引きあげ、静けさをとりもどしたお寺の前に立ちつくした私は、一人静かに感涙にむせんだのであります。3年間味わわせていただいた有難き体験に感謝をしつつ……。

庄内空港の建設を推進しましょう

法要後三浦事件で有名な？あのロスアンゼルスをはじめとし、レイクタホ、ラスベガス、メサテンパー、リノ、クリーブランド、バッファローと気儘な一人旅を楽しみながらニューヨーク入りしたのが5月15日であります。ここでレンタカーをして翌16日今回の渡米のもう一つの目的である、当クラブからの交換留学生新穂恵さんを励ます為にニューブランズウィックを訪問したのであります。

米国の製薬会社ジョンソン アンド ジョンソン社の本社があるニューブランズウィック市は、ニューヨークから南西に80キロの地点にあり、超高層ビルの立ち並ぶニューヨークとは好対照な長閑な田園都市であります。

現在恵さんは、鶴岡で活躍中のデービット・ハイラインさんの御両親のところにホームステイをしております。ハイライン家を訪ねた私にハイライン氏、開口1番よろこそニューブランズウィックへ、これが“娘の恵です”そう言って彼女を紹介したのです。一年振りに会う恵さんは、すっかり女性らしく成長し、少しはにかみを残しながらもレディーとして、ハイライン家の家族の一員として堂々と振るまっております。私は彼女の成長をまのあたりにみて安心すると同時に“娘の恵です”そう言って紹

介してくれたハイライン御夫妻に、交換留学生のホストファミリーとしての理想像をみせられたおもしろいし、非常な感動と同時にロータリアンの一人として深く敬意を表した次第であります。

ハイライン氏より素晴らしい昼食の接待を受け、互いのクラブの実情を語りあって参りました。次の渡米の際には例会への出席(木曜日)を約束し、別れをおしみつつニューブランズウィックをあとに致しました。

### スマイル

若生恒吉君 健康管理センター竣工式の際、鶴岡医師会より感謝状金一封いただいたので。

四田良平君 同上

小池繁治君 天神祭に参加して。

早坂徳治君 天神祭に参加して特に大黒様になられた。

藤川享胤君 サンフランシスコお寺作りその落慶のため。

### ビジター

鶴岡西R.C. 井上 彬君・菅原年雄君

### ロータリー用語便覧 (17)



ホームクラブの欠席  
メイク・アップ を、他クラブの例会  
に出席して「うめあわせる」ことを言う。

1922年の国際大会で、親睦と友情を深めるため毎週1回例会を開くことを決めたが、その後1958年のダラスの国際大会では、毎週1回例会を開かねばならないことを標準ロータリー・クラブ定款に規定することを決議したのである(標準R.C.定款第4条第1節)。もちろん、会員はすべてこの例会に皆出席しなければならないと義務づけた規定はないが、連続して4回ホーム・クラブの例会に欠席した会員(正会員、シニア・アクティブ会員、パストサービス会員等)は、その欠席を埋め合わせる(メ

ークアップ)か、正当な理由があると認めて理事会が出席を免除しない限り、その会員としての身分を失うことになる。しかし便法があって、ホーム・クラブの例会に欠席した会員は、誰でも、欠席した日の直前6日間のうちいずれの日か、あるいは欠席した当日または直後6日間のうちいずれかの日に、他のどこかのロータリー・クラブが仮ロータリー・クラブの例会に出席していれば、ホーム・クラブの例会に出席したものとみなされ、その「欠席補充(埋め合わせ)」が認められるのである。ただし、その場合、出席の通知が訪問先クラブの幹事から送られて来なくてはならないが、その会員が自分で出席の報告をしても差支えない(標準R.C.定款第8条第5節)とされている。

(今週の担当者 斎藤 昭)